

( 2 ) 年 教科【 数学 】

使用教科書	東京書籍	
学習の目標 ・ねらい	・数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。	
年間の 授業内容	前期	<p>4月 1章 文字式を使って説明しよう [式の計算] (15)</p> <p>5月 1章 文字式を使って説明しよう [式の計算] (15) 2章 方程式を利用して問題を解決しよう [連立方程式] (12)</p> <p>6月 2章 方程式を利用して問題を解決しよう [連立方程式] (12) 3章 関数を利用して問題を解決しよう [1次関数] (19)</p> <p>7月 3章 関数を利用して問題を解決しよう [1次関数] (19)</p> <p>9月 3章 関数を利用して問題を解決しよう [1次関数] (19)</p>
	後期	<p>10月 3章 関数を利用して問題を解決しよう [1次関数] (19) 4章 図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同] (16)</p> <p>11月 4章 図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同] (16) 5章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形] (18)</p> <p>12月 5章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形] (18)</p> <p>1月 5章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形] (18) 6章 起こりやすさをとらえて説明しよう [確率] (9)</p> <p>2月 6章 起こりやすさをとらえて説明しよう [確率] (9) 7章 データを比較して判断しよう [データの比較] (5)</p> <p>3月 7章 データを比較して判断しよう [データの比較] (5)</p>
特色ある 学習など	少人数指導、グループ学習を行いT2の教員と連携して指導をする。	
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。(知識・技能)</li> <li>・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。(知識・技能)</li> <li>・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。(思考・判断・表現)</li> <li>・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。(主体的に学習に取り組む態度)</li> </ul>	
評価の方法	・考査や小テストの内容、ノート、ワークなど提出物の内容、授業態度、発表の内容などで総合的に評価する。	
注意事項	・特になし。	